

# ピープルズ・ホープ・ジャパン 2012年度 事業計画

## 1. 概要

東日本大震災支援については募金活動も継続し、前期からの災害募金繰越し金を含めて、全日本病院協会と連携して被災地の病院機能の復興支援を実施していきます。

一方PHJ主務の海外支援については、支援者（法人・個人）の寄付が災害寄付に回り、海外支援向けの寄付が少なくなっているが、募金活動にも知恵を出して積極的にいき、海外支援事業の継続・拡大に努力していきたい。

## 2. 東日本大震災支援活動（総事業費 2490 万円）

社団法人 全日本病院協会と連携して被災会員病院の復興に向け、PHJによる被災病院のきめ細かなニーズ調査・把握を行います。また医療機器又は機材メーカーへの支援の要請やお願い・連携していくとともに取り扱い商社や応援頂ける個人・団体、企業のご協力を得て病院機能の復興に向けた支援活動を行っていきます。

## 3. タイ支援（総事業費 2761 万円）

### ①HIV/エイズ予防教育支援（自己資金および補助金事業）

従来の活動方法は最小限とし、過去 10 年以上にわたる教育効果把握のために、外務省の補助金を得て、その教育効果測定を行うプロジェクトを進めます。

### ②子宮頸がん・乳がん検診推進支援（補助金事業）

外務省の補助金により 2010 年 11 月から開始した 3 年計画の活動を継続していきます。2011 年 10 月末には一年間のサラピー郡、サンカンペーン郡での活動レビューを行い、チェンマイ総領事館に報告し、その結果を踏まえ、11 月より第 2 年度の活動をサンサイ郡、ドイサケット郡にて開始していきます。

### ③HOPE パートナー教育支援（指定寄付事業）

1998 年以来継続している「里親制度」プログラムで、個人のみならず、企業のサポートも得て、教育面での充実を図り、PHJの長期プログラムとして継続していきます。同時に障害児のケア教育の場である「ラーニングセンター」の運営も軌道に乗せるように支援します。

### ④小児先天性心臓病手術支援（指定寄付事業）

今年度も昨年に引き続き多くの企業からの支援のもと、子ども達の心臓病手術支援をおこないます。まだまだ手術待ち患者リストには 250 名近くの名前があります。

### ⑤ベトナムハノイ乳がん予防教育支援（指定寄付事業）

昨年に引き続き、テストプログラムの位置づけで対象地区を変えて第二年度も 2012 年 1 月から継続していきます。

## 4. インドネシア支援（総事業費 1838 万円）

### ①バンタン州地域保健医療システム強化事業（自主および指定寄付事業）

西ジャワのバンタン州セラン県で、MDGs 目標でもある安全な出産と子供の健康な発育を目指し、村レベルの診療所を中心とした地域医療連携システム強化事業を引き続き実施し、今年度は特に助産師教育・出産介助研修、妊産婦検診に注力します。医療サービスを提供する診療所（Poskesdes）の建設支援はソーラー井戸付を基本仕様として着実に実施します。離島では昨年度支援した分娩室や保育・保健センターを活用した活動回数を増やします。「栄養改善活動」では、栄養給食センターを活用して栄養メニューの種類を増やし、その浸透を図ります。また小規模菜園を開発し普及を図ります。

### ②画像診断技術支援（自主事業）

日本から検査技師を派遣して、インドネシア・ギアニア病院などの医師・技師の画像診断技術をブラッシュアップする教育事業を継続実施します。今年度も独自の技能認定に合格する検査技師の増加を図ります。

### **③感染症予防事業**（自主事業）

バリ州では特に狂犬病の発生率が高く州保健局から予防対策の支援要請があり、今年度も継続支援します。

### **④口腔衛生予防教育支援**（自主事業）

東バリ地区の口腔衛生予防教育専門家を対象にした小規模歯科技術教育セミナーを今年度も開催します。

## **5. カンボジア支援**（総事業費 1901 万円）

### **①母子保健改善のための健康な村作り事業**（補助金事業）

コンポントム州での母子保健改善事業は、FY12 より3年の新規事業「健康な村作り事業」として始まります。これまでの取り組みで保健センターサービスは改善されてきたので、村人の行動変容に焦点を当てた事業となっています。事業では、村人から選ばれた保健ボランティア等が、母子保健活動の中心を担い、村人一般への保健教育を推し進め、母子保健改善を図ります。

### **②助産師トレーニング**（指定寄付事業と自主事業）

2007 年度よりプレイベン州で、地域の母子保健の鍵を握る保健センター助産師が、適切な助産サービスに必要な技能を修得することを目標に実践的トレーニングを実施しています。昨年度までに24名の助産師のトレーニングを修了し、技能向上はもちろん、助産数も増加するなど成果を上げ、州保健局からも高く評価されています。今年度は、州内のプレアスダット保健行政区で、8名の助産師を対象にトレーニングを予定しています。

以上